



Microsoft Teams

# Scrums for Group Chat

## 管理者ガイド

日本マイクロソフト株式会社

2020/9/1

---

改定履歴			
版	章	日付	変更内容
1.0	すべて	2020/09/01	初版

---

1. はじめに.....	4
2. 前提条件.....	5
2-1. MICROSOFT 365 E3/E5 のライセンス.....	5
2-2. MICROSOFT AZURE のサブスクリプション.....	5
3. 使用開始の手順.....	7
3-1. リソースグループの作成 .....	7
3-2. アプリの登録.....	9
3-3. クライアントシークレットの作成 .....	10
3-4. カスタムデプロイ.....	12
3-5. ZIP ファイルのダウンロード.....	15
3-6. MANIFEST.JSON の書き換え.....	15
3-7. MICROSOFT TEAMS へのアップロード.....	17
3-8. チャンネルへの追加.....	20
4. デプロイが失敗したとき場合の対処 .....	21
4-1. 再デプロイ .....	21
4-2. 使用開始手順のやり直し .....	21
5. よくある質問.....	25

## 1. はじめに

Scrums for Group Chat(Scrum Status Bot)は Microsoft Teams のチャネル上で使用するボットベースのコミュニケーションアプリです。チャットや通話、ファイル共有などに加えて、チームで進めている業務に関する日々の共有を Microsoft Teams 上で行うためのソリューションとなります。業務単位で作成されたグループチャット内のメンバーが、進捗や予定の共有など業務を円滑に進めるために毎日必要となるコミュニケーションを簡単に行えるようにサポートします。

本文書は、すでに英語で公開されている Scrums for Group Chat を日本語版にローカライズしてリリースするにあたり、日本語で Scrums for Group Chat を組織の Microsoft Teams に展開する管理者向けに執筆されたマニュアルです。Scrums for Group Chat を業務で使用する際の操作手順に関しては、ユーザー向けの利用者マニュアルをご確認ください。



## 2. 前提条件

### 2-1. Microsoft 365 E3/E5 のライセンス

Scrums for Group Chat 使用するには

**Microsoft 365 E3** または **Microsoft 365 E5** のライセンスが必要です。

¥3,480 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥6,200 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥1,090 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>
<b>Microsoft 365 E3</b>	<b>Microsoft 365 E5</b>	<b>Microsoft 365 F3</b>
クラス最高の生産性向上アプリに大企業のための中核的なセキュリティとコンプライアンスの機能を組み合わせました。	クラス最高の生産性向上アプリに加えて大企業のための高度なセキュリティ、コンプライアンス、音声通信、分析の機能を利用できます。	旧称 Microsoft 365 F1。現場の最前線で働く従業員が最高の仕事をするための力となる、生産性向上アプリとクラウドサービスを集めました。
<a href="#">ご購入前の相談窓口</a> <a href="#">詳細情報 &gt;</a>	<a href="#">ご購入前の相談窓口</a> <a href="#">詳細情報 &gt;</a>	<a href="#">ご購入前の相談窓口</a> <a href="#">詳細情報 &gt;</a>

### 2-2. Microsoft Azure のサブスクリプション

Scrums for Group Chat を使用するには、Microsoft Azure のサブスクリプションが必要です。サブスクリプションがない場合は、下記の手順に沿ってサブスクリプションを購入します。

※ここでは Azure 無料試用版のサブスクリプションの開始手順を説明しますが、無料試用版に付随する 200 ドル分の無料クレジットを消費した後も Scrums for Group Chat の使用を継続する場合は、有償版の Azure サブスクリプションにアップグレードする必要があります。

1. <https://portal.azure.com/> にアクセスする。
2. サインインしたら右の画面が表示される。「Azure の無料試用版から開始する」「Azure の無料試用版から開始する」の「開始」をクリックする。



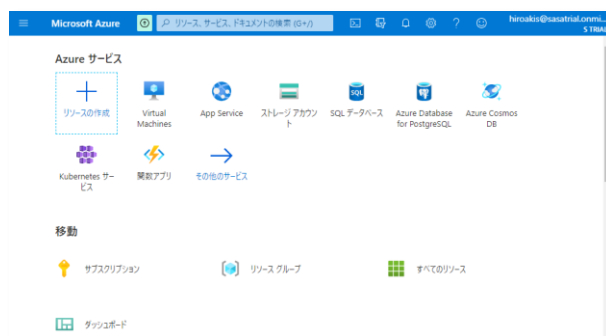
3. 画面表示に従って[自分の情報][電話による本人確認][カードによる本人確認][アグリーメント]の各項目を入力する。



4. すべての項目を入力し「サインアップ」をクリックすると、右の画面に移動する。「ホーム」をクリックする。



5. 右の画面が表示されれば Azure サブスクリプションの準備は完了となる。



### 3. 使用開始の手順

アプリの登録の全体の流れは下記のとおりです。

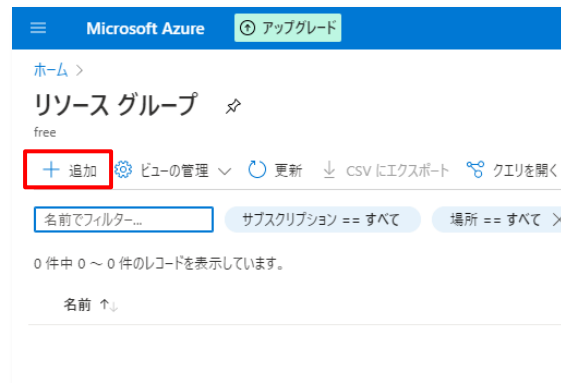


#### 3-1. リソースグループの作成

1. <https://portal.azure.com> にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。
2. 「リソースグループ」をクリックする。



3. 「追加」をクリックする。



4. 項目を入力して「確認および作成」をクリックする。

リソースグループには任意のリソースグループ名を、リージョンには該当する地域を入力する。

※サブスクリプションでは契約している Azure のサブスクリプションを選択してください。



5. 検証が開始される。検証に成功したら「作成」をクリックする。



6. 画面右上の通知（ベルのアイコン）を開くと、リソースグループが作成されたという表示が出る。「リソースグループに移動」をクリックすると作成したリソースグループの画面が開き、作成が完了していることが確認できる。





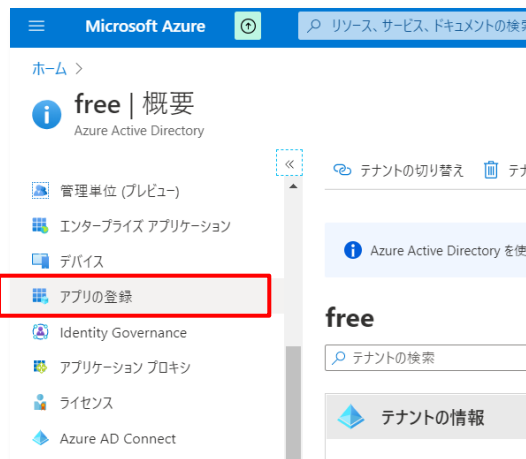


## 3-2. アプリの登録

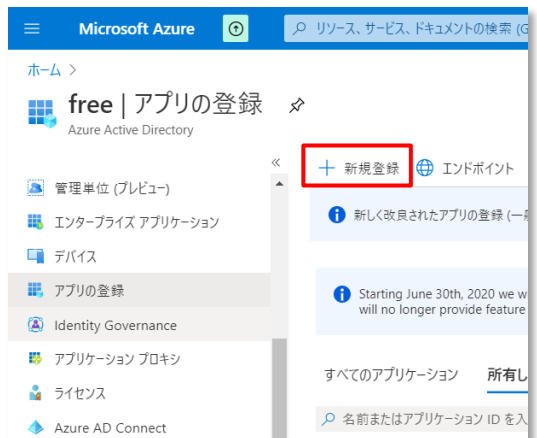
1. <https://portal.azure.com> にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。



2. 「Azure Active Directory」をクリックし、左のメニューから「アプリの登録」をクリックする。



3. 「新規登録」をクリックする。



4. 登録画面が開くので「名前」と「サポートされているアカウントの種類」を指定する。
- 「名前」はアプリの表示名として任意の文字列を、「サポートされてあるアカウントの種類」は 2 番目の「任意の組織ディレクトリ内のアカウント（任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント）」を選択する。
- 「登録」をクリックする。

ホーム > free | アプリの登録 >  
アプリケーションの登録

\* 名前  
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。  
Scrum for Group Chat

サポートされているアカウントの種類  
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?  
☐ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (free のみ - シングルテナント)  
☒ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)  
☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)  
☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります。 >  
登録

5. アプリが登録されると、アプリの詳細画面に移動する。ここで**アプリケーション (クライアント)ID** をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。(後の手順で使用する。)

ホーム > free | アプリの登録 >  
Scrum for Group Chat

検索 (Ctrl+) << 削除 エンドポイント

概要  
クイックスタート  
統合アシスタント (プレビュー)

管理  
ブランド  
認証  
証明書とシークレット  
トークン構成  
API のアクセス許可  
API の公開

表示名 : Scrum for Group Chat  
アプリケーション (クライアント)... : 5aec5fe4-f594-481c-80a4-63e7ffbc910  
ディレクトリ (テナント) ID : 2d48a0d9-ca71-489d-8349-9a8e7ba54b02  
オブジェクト ID : 35c2b4f6-c131-4d0e-a7db-bc91902de01f

基本  
新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (レジストリ) からの変更点を確認することをご希望ですか? [詳細情報](#)  
2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure AD Graph に新しい機能にアップグレードする必要があります。 [詳細情報](#)

メモ帳 - メモ帳  
5aec5fe4-f594-481c-80a4-63e7ffbc910

### 3-3. クライアントシークレットの作成

1. 左のメニューから「証明書とシークレット」をクリックする。

ホーム > free | アプリの登録 >  
Scrum for Group Chat

検索 (Ctrl+) << 削除 エンドポイント

概要  
クイックスタート  
統合アシスタント (プレビュー)

管理  
ブランド  
認証  
証明書とシークレット  
トークン構成  
API のアクセス許可  
API の公開

表示名 : Scrum for Group Chat  
アプリケーション (クライアント)... : 5aec5fe4-f594-481c-80a4-63e7ffbc910  
ディレクトリ (テナント) ID : 2d48a0d9-ca71-489d-8349-9a8e7ba54b02  
オブジェクト ID : 35c2b4f6-c131-4d0e-a7db-bc91902de01f

基本  
新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (レジストリ) からの変更点を確認することをご希望ですか? [詳細情報](#)  
2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure AD Graph に新しい機能にアップグレードする必要があります。 [詳細情報](#)

2. クライアントシークレットから「新しいクライアントシークレット」をクリックする。



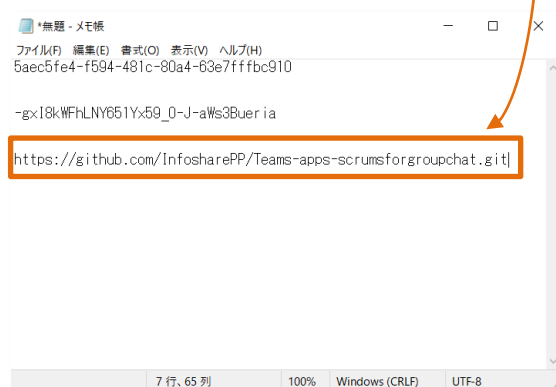
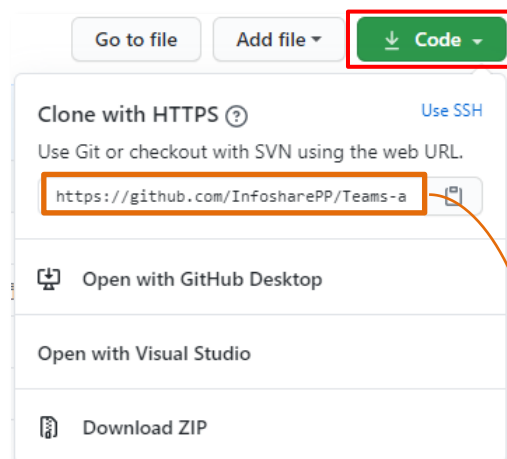
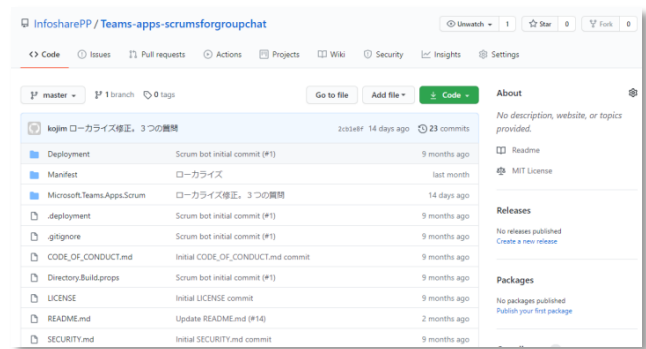
3. 「説明」に任意の文字列を入力し、「有効期限」は「なし」を選択する。「追加」をクリックする。

4. 作成された**クライアントシークレットの値**をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）



### 3-4. カスタムデプロイ

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-scrumsforgroupchat> にアクセスする。
2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Clone with HTTPS」の **Git** をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）
3. <https://portal.azure.com/#create/Microsoft.Template/uri/https%3A%2F%2Fraw.githubusercontent.com%2FOfficeDev%2Fmicrosoft-teams-app-scrumstatus%2Fmaster%2FDeployement%2Fazuredeploy.json> にアクセスする。



使用条件

Azure Marketplace の使用条件

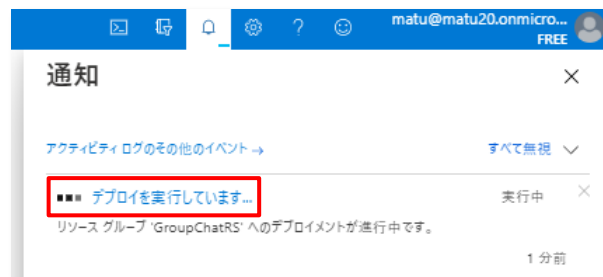
Azure Marketplace

[購入] をクリックすることで、お客様は (a) サービスに関連付けられている当該の法律事項に同意し、(b) サービスの利用を停止するまでの間、Microsoft より、そのサービスに関連する料金 (適用される税金を含む) が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求頻度で課金または請求されることを認め、かつ (c) デプロイにサードパーティのサービスが関与する場合に、Microsoft がお客様の連絡先情報および当該のデプロイの他の詳細もそのサービスの発行元と共有する可能性があることに同意するものとします。

☒ 上記の使用条件に同意する

6. デプロイが開始される。通知を開き「デプロイを実行しています」をクリックすると、進行中のデプロイ詳細画面に移動する。

※デプロイにはクラウドの状況によって 30 分～数時間かかることがあります。画面を離れてもデプロイは進行しますが「キャンセル」をクリックするとデプロイが中止されます。



7. デプロイが完了する。「リソースグループに移動」をクリックする。

※デプロイに失敗した場合は、[\[4.デプロイが失敗したときのやり直し手順\]](#)を参照し、再度デプロイを実行してください。

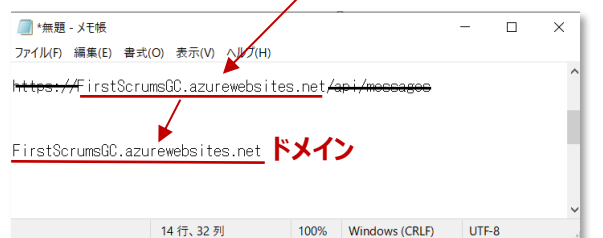
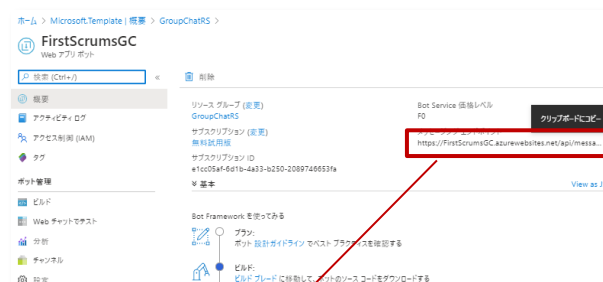
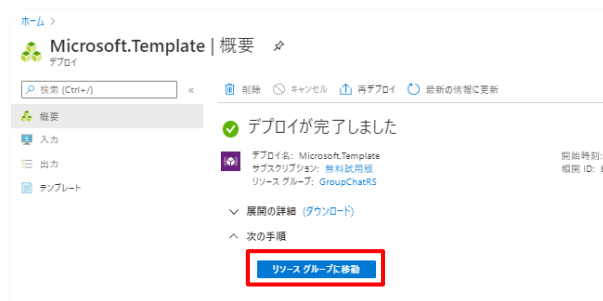


8. 種類が「Web アプリボット」のレコードをクリックする。

9. メッセージエンドポイントをコピーし、メモ帳などに張り付ける。

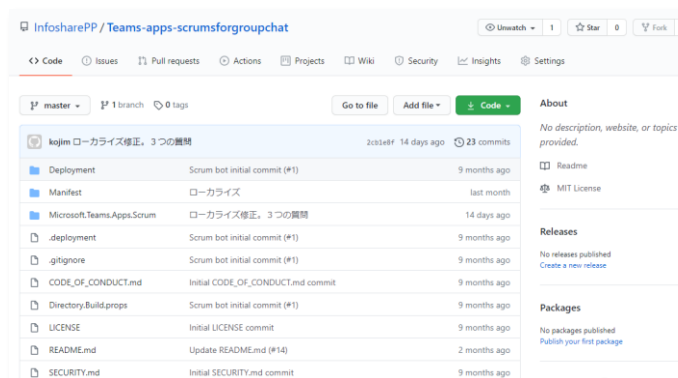
“https://”と“/api/message”を削除し、ドメイン部分だけ切り出しておく。（後の手順で使用する。）

※ドメインは、  
“[BaseResourceName].azurewebsites.net”  
という形になります。

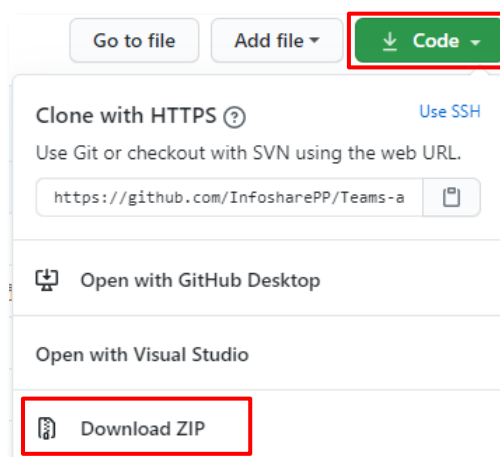


### 3-5. Zip ファイルのダウンロード

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-scrumsforgroupchat> にアクセスする。

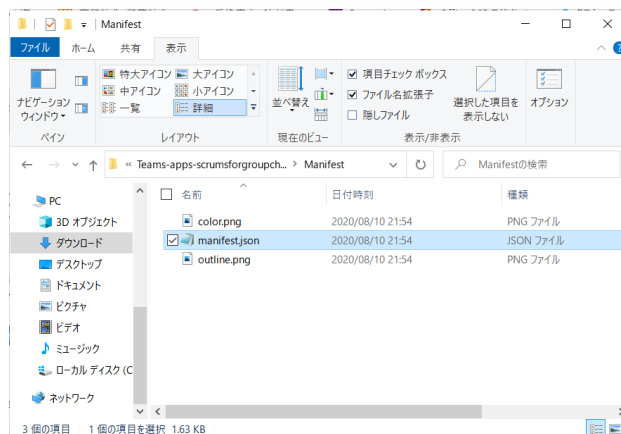


2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Download ZIP」をクリックする。ダウンロードが開始される。



### 3-6. manifest.json の書き換え

1. [3-5. Zip ファイルのダウンロード]でダウンロードしたファイルを展開し、¥Teams-apps-scrumsforgroupchat-master¥Manifest を任意のツールで開く。



2. <<companyName>>を企業名に書き換える。
3. <<websiteUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業のホームページ URL など）
4. <<privacyUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業で取り決めているプライバシー規約など）
5. <<termOfUseUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業で管理している利用規約など）

manifest.json - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
[
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json",
  "manifestVersion": "1.5",
  "version": "1.0.0.0",
  "id": "7966210f-b423-4f11-b0aa-fd9af2357fc0",
  "packageName": "com.microsoft.scrumstatus",
  "developer": {
    "name": "<<company name>>",
    "websiteUrl": "<<websiteUrl>>",
    "privacyUrl": "<<privacyUrl>>",
    "termsOfUseUrl": "<<termsOfUseUrl>>"
  }
],
```

```
"packageName": "com.microsoft.scrumstatus",
"developer": {
  "name": "Microsoft Japan Company Limited.",
  "websiteUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp/",
  "privacyUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp/",
  "termsOfUseUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp/"
},
"icons": {
  "color": "color.png"
```

<Microsoft Teams へのアップロード後の画面>



※ URL はアプリを Microsoft Teams にアップロードした後にリンクとして表示されるもので、Scrums for Group Chat アプリの機能そのものには影響がありません。特にない場合は、企業のホームページの URL などを入力して進めることができます。

6. <<botId>>を[アプリケーション\(クライアント\)ID](#)([\[3-2. アプリを登録する\]](#)でコピーしたもの)に書き換える。

```
"accentColor": "#FFCCD8",
"bots": [
  {
    "botId": "<<botId>>",
    "scopes": [
      "groupchat"
    ],
    "commandLists": [

```

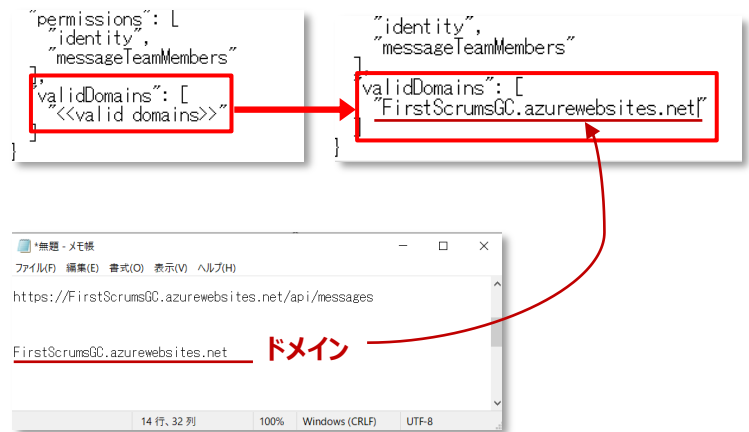
5aec5fe4-f594-481c-80a4-63e7ffbc910

-gx18kWFhLNY651Yx59\_0-J-aWs3Bueria

<https://github.com/InfosharePP/Teams-apps-scrumsforgroupchat.git>

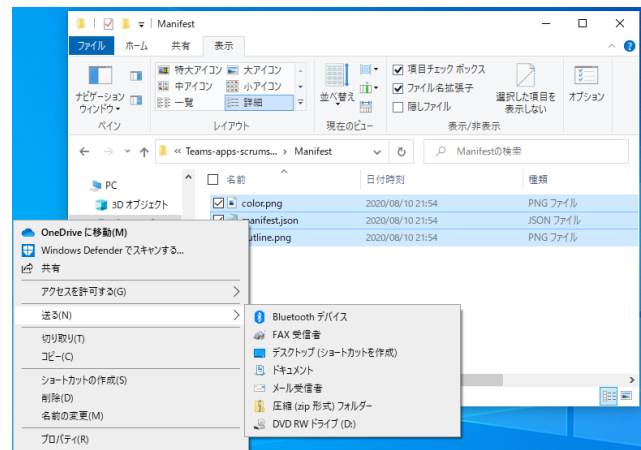


7. 下にスクロールし最下部付近の <<valid domains>>を[3-4.カスタムデプロイ]で用意したドメインに書き換える。

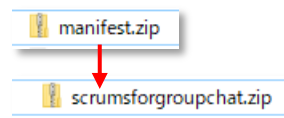


8. manifest.json を保存し、manifest フォルダ内の下記 3 ファイルを Zip パッケージに圧縮する。

- color.png
- manifest.json
- outline.png



9. アップロード用に編集したものとわかるように、圧縮した Zip パッケージの名前を "scrumsforgroupchat.zip" に変更する。



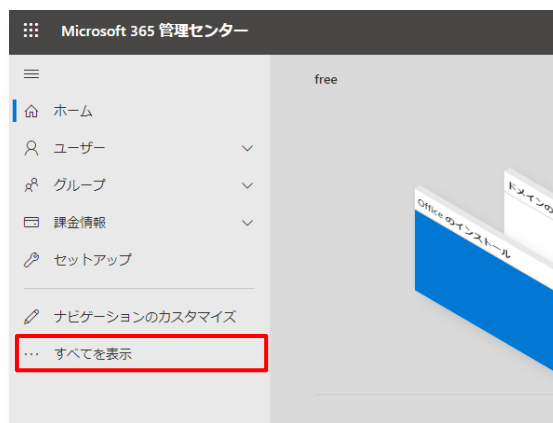
### 3-7. Microsoft Teams へのアップロード

Scrums for Group Chat のアプリを Microsoft Teams にアップロードする方法は下記の 2 通りあります。

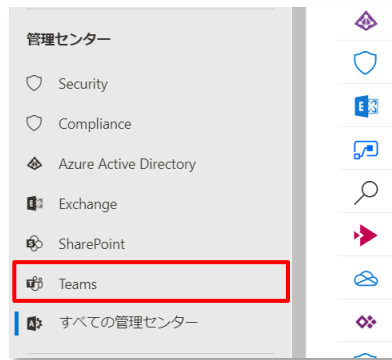
- Microsoft Teams 管理センターからアップロードする
- Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

#### ① Microsoft Teams 管理センターからアップロードする

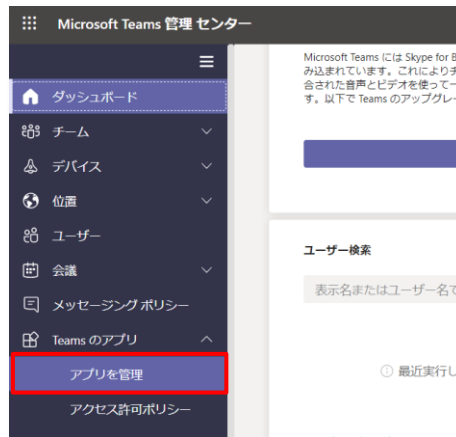
1. Microsoft 365 管理センターにアクセスし、「すべてを表示」をクリックする。



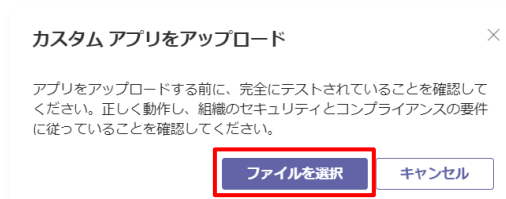
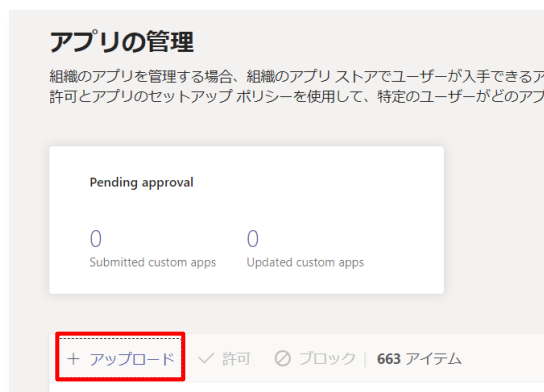
2. 管理センターで「Teams」をクリックする。



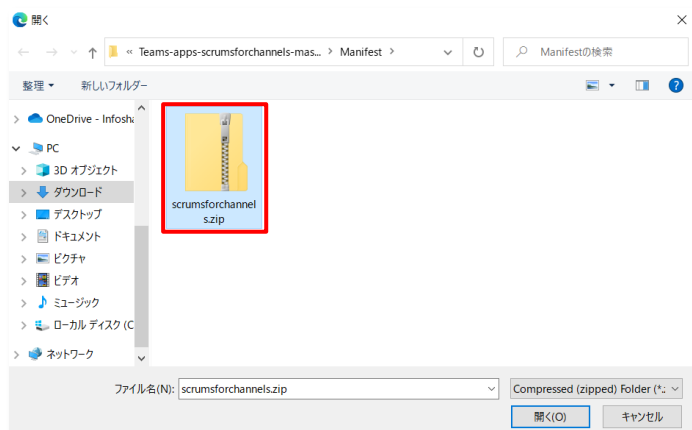
3. Teams のアプリから「アプリを管理」をクリックする。



4. 「アップロード」をクリックし、ダイアログが開いたら「ファイルの選択」をクリックする。



5. [\[3-6.manifest.json の書き換え\]](#)で作成した "scrumsforgroupchat.zip" を開く。

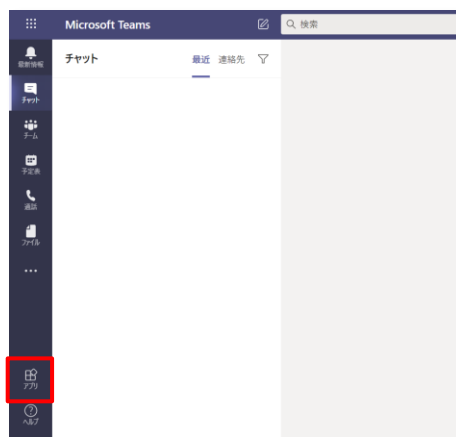


6. アップロードが開始される。完了後にアプリの一覧で検索すると、アップロードされた Scrums Status Bot (グループチャット上でスクラムを管理するボット) のアプリが表示される。

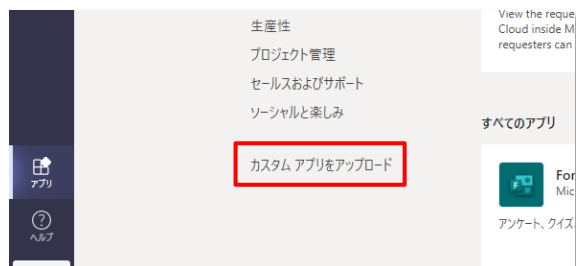


## ② Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

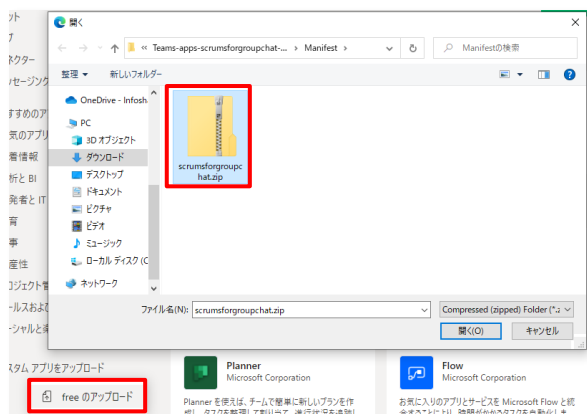
1. Microsoft Teams を起動し、「アプリ」をクリックする。



2. アプリの一覧を下へスクロールし、「カスタムアプリをアップロード」をクリックする。



3. 「[組織名]のアップロード」をクリックし、[\[3-6.manifest.json の書き換え\]](#)で作成した"scrumsforgroupchat.zip"を開く。



4. Scrums Status Bot（グループチャット上でスクラムを管理するボット）が Microsoft Teams にアップロードされる。

※アップロード直後は Scrum Status Bot のアイコンが表示されないことがあります。



### 3-8. チャンネルへの追加

ここまでの手順で Scrums for Group Chat (Scrum Status Bot)は Microsoft Teams 組織内で使用できる状態になりました。

各ユーザーがチャンネル上で Scrums for Group Chat (Scrum Status Bot)を使用するには、チームに Scrums for Group Chat を追加する必要があります。チャンネルに Scrums for Group Chat を追加する手順は、各ユーザーが実行する内容であるため[Microsoft Teams Scrums for Group Chat 利用者ガイド]に記載されていますのでご確認ください。

## 4. デプロイが失敗したとき場合の対処

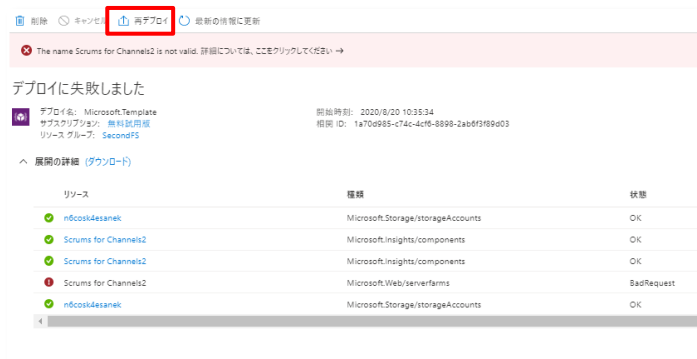
[[3-4.カスタムデプロイ](#)]でデプロイが失敗した場合の対処を説明します。まず再デプロイを試行し、再デプロイも失敗するようなら、展開手順をやり直します。まず再デプロイを試行します。「デプロイに失敗しました」と表示されたら数分待ったあとに「再デプロイ」をクリックします。

再度デプロイが実行されますが、何度もデプロイに失敗する場合は、手順のどこかに間違いがあったことが考えられます。手順をやり直す前には、リソースグループをクリーンアップし、アプリを削除してから再度作成する必要があります。やり直しの準備として行う作業は下記のとおりです。

### 4-1. 再デプロイ

デプロイが失敗した場合、まず再デプロイを試行します。カスタムデプロイにおいて入力ミスがあったことがデプロイ失敗の原因であるとき、再デプロイを正しく行うことで問題が解消されます。手順は下記のとおりです。

1. 「デプロイに失敗しました」と表示されたら数分待ったあとに「再デプロイ」をクリックする。



2. [[3-4.カスタムデプロイ](#)]の手順 4 に戻る。ここで再度手順に従い情報を入力し、デプロイへ進む。

カスタム デプロイ  
カスタム テンプレートからのデプロイ

Template  
Customized template 5 resources

デプロイ スコープ  
デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを使用して、すべてのリソースを整理し、管理します。

サブスクリプション 無料試用権  
リソース グループ GroupChatRS 新規作成

パラメーター  
リージョン 東日本

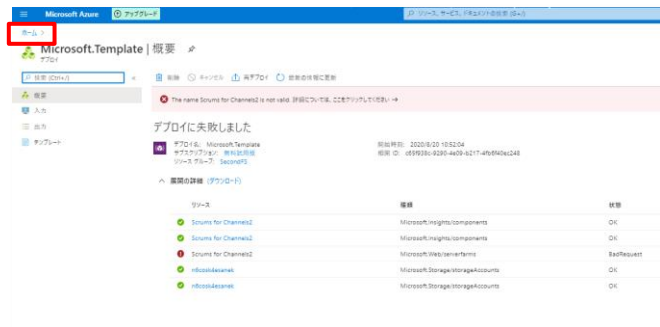
Base Resource Name Scrum for Group Chat  
Bot Client Id Saec5fe4-4594-481c-80a4-63e77fbb9910  
Bot Client Secret \*\*\*\*\*  
App Display Name Scrum for Group Chat  
App Description Scrum Status Bot helps you get status updates from your team in group c...  
Tenant Id [subscription].tenantid  
App Icon Url https://raw.githubusercontent.com/OfficeDev/microsoft-teams-app-scr...  
Sku Standard  
Plan Size 1  
Location [resourceGroup].location  
Git Repo Url https://github.com/InfoSharePP/Teams-apps-scrumforgroupchat.git  
Git Branch master

### 4-2. 使用開始手順のやり直し

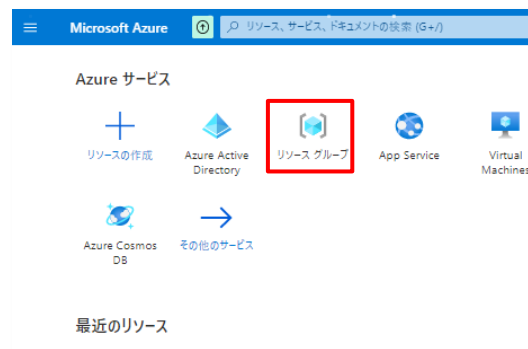
再デプロイをしても同様の失敗が繰り返す場合、[[3.使用開始の手順](#)]に不備があったことが考えられるため、手順をやり直します。やり直しの準備として、リソースグループのクリーンアップし、アプリを削除します。手順は下記のとおりです。

※この手順では、例として「SecondRS」というリソースグループに作成した「Scrums for Channels2」というアプリのデプロイに失敗した場合の手順を示します。

1. 「ホーム」をクリックする。



2. 「リソースグループ」をクリックする。



3. 「SecondRS」（削除するリソースグループ）をクリックする。



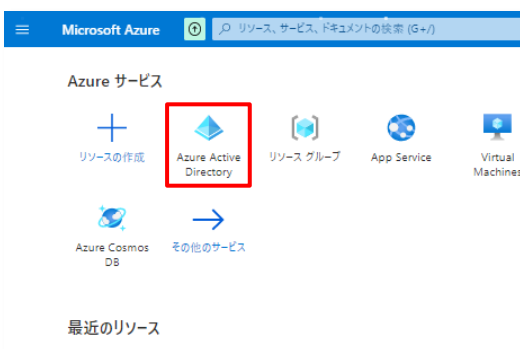
4. 「名前」の左のチェックボックスをチェックし、すべてのリソースが選択されたことを確認したら、「削除」をクリックする。



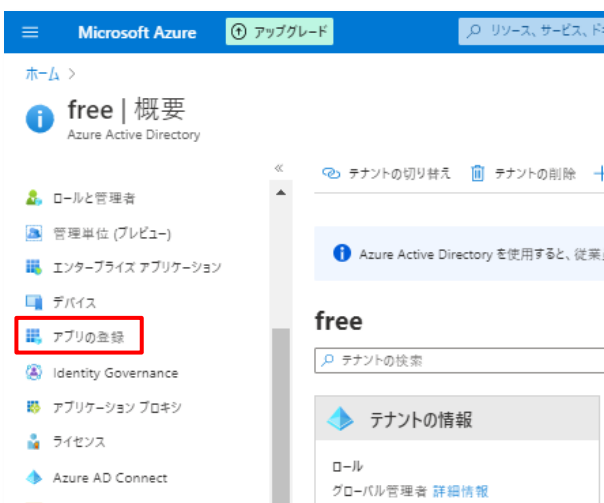
5. 削除の確認に「はい」と入力し、「削除」をクリックする。削除が実行される。



6. ホームに戻り「Azure Active Directory」をクリックする。



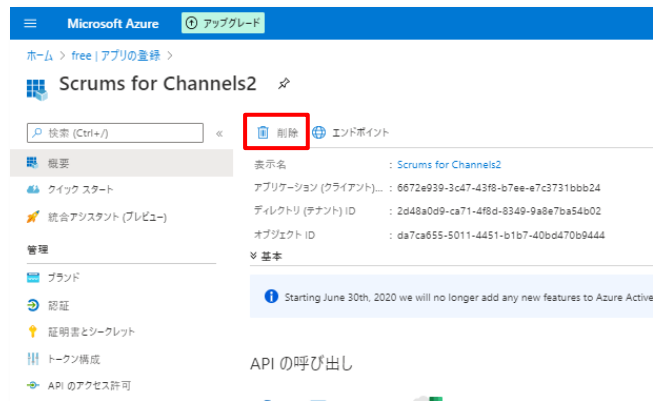
7. 「アプリの登録」をクリックする。



8. 「Scrums for Channels2」(削除するアプリ) をクリックする。

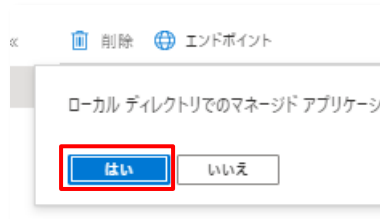


9. 「削除」をクリックする。



10. 「はい」をクリックする。アプリの削除が開始される。

アプリが削除されたらやり直しの準備が完了する。[\[3-2.アプリの登録\]](#)からの手順を再度実行する。





## 5. よくある質問

質問	回答
やり直しをしてもカスタムデプロイが失敗しますが、どんな原因が考えられますか？	<p>手順でコピー &amp; ペーストのミスなどをしていないか確認してください。手順に間違いがない場合、エラーのステータスを確認し、下記リンクを参照のうえエラーの原因を取り除きます。</p> <p><b>Azure Resource Manager を使用した Azure へのデプロイで発生する一般的なエラーのトラブルシューティング：</b></p> <p><a href="https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/templates/common-deployment-errors#find-error-code">https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/templates/common-deployment-errors#find-error-code</a></p> <p>エラーの原因を取り除いてもデプロイに失敗する場合、またはエラーの原因がわからない場合は、Azure クラウドの状況によってデプロイが失敗していることが考えられます。しばらく時間を置くなどして再度実行してください。繰り返しデプロイが失敗する場合は、リソースグループのリージョン（場所）を「(US)米国西部 2」に設定し作り直してデプロイを実行してください。（リージョン変更によるアプリへの影響はありません。）</p> <p>以上の対応をしてもなおデプロイが繰り返し失敗する場合は、Microsoft の担当者にお問い合わせください</p>
カスタムデプロイが実行中のまま進行しません。	クラウドの状況によってカスタムデプロイには数十分～数時間かかることがあります。デプロイの実行がフリーズしていない様子であればしばらくお待ちください。
クライアントシークレットの値が伏せ字になってコピーできません。	クライアントシークレットの値は一度ページを離れると伏せ字になります。クライアントシークレットを削除し、再度作り直してすぐにクライアントシークレットをコピーしてメモ帳にペーストするなどして保存してください。
組織の Microsoft Teams に Zip ファイルをアップロードするときに、「マニフェストの解析に失敗しました。」と表示され、アップロードできません。	<p>マニフェストファイルの書き換え手順に不備があるために発生するエラーです。エラーの詳細を確認し問題を取り除いてから再度アップロードを実行してください。</p> <p>書き換えに不備がない場合、&lt;&lt;companyName&gt;&gt;などの書き換え部分に禁則文字が使用されていてアップロードの障害になっていることがあります。</p>